

他都市に学び、
札幌の魅力を高めるために

都市間交流を 進めています

札幌市は、他都市の優れた文化や魅力を学び、観光や経済の盛り上がりにつなげるため、日本各地の都市と交流しています。今回は、札幌市とつながりを深めている鹿兒島市、松本市、浜松市の3都市の概要や、関わりのある取り組みを紹介します。

このページに関する問い合わせは、観光企画課 ☎(21) 2376

札幌市

松本市

浜松市

鹿兒島市

協定の締結、
宣言への調印を行い、
つながりを
深めているのは
この3都市！

平成25年11月
「観光・文化交流協定」締結

鹿兒島県

鹿兒島市

九州の南部にある人口約61万人の街です。市内にはおよそ270カ所の源泉があり、温泉施設が充実。明治維新の面影が色濃く残る史跡も数多くあります。黒豚やさつま揚げなどのグルメも豊富です。



↑市街地から4kmほどの距離にある活火山、桜島。現在も火山活動が続いており、間近で噴火を見ることができます

札幌市との
つながり

歴史的な関わりが深く
経済を通じた交流が盛ん

札幌・北海道の発展に貢献



▲黒田清隆

明治時代、薩摩藩出身の政治家黒田清隆は、積極的に外国人を招き入れ、札幌・北海道の発展に尽力しました。また、同じく薩摩藩出身で、開拓を指揮した村橋久成は、サッポロビールの起源である「開拓使麦酒醸造所」の創設に携わり、札幌にビール文化が根付くきっかけをつくりました。



←「開拓使麦酒醸造所」は現在、ビール文化の歴史が分かる施設になっており、無料で見学できます(中央区北2東4)

札幌の特産品などがそろった物産展が盛況

毎年両市の百貨店で、互いの地元産品などを集めた物産展を開催。鹿兒島市内の百貨店「山形屋」で開催される北海道物産展の売り上げは、各都市で行っている北海道物産展の中で13年連続日本一を誇る盛況ぶりです。

